

(1) 面積算定の考え方

必要台数の設定

来庁者の利用実態や市役所駐車場の利用状況、さらに公用車の運用状況（出先機関からの来所分や議員利用、荷さばき車両等を含む）を踏まえ、**約345台**と設定。



整備台数の設定

必要台数を整備するのではなく、人中心のまちづくりの視点と来庁者の利便性確保の両立を図るとともに、敷地条件を踏まえた実現可能な規模を検討した結果、整備台数を**約155台**と設定。



面積の算定

仮のレイアウト図を作成し、整備台数分を確保可能な必要床面積を算出。
その結果、本庁舎は約7,270㎡、中央区役所は約5,030㎡をあわせて**約12,300㎡**。

(2) 必要台数の設定

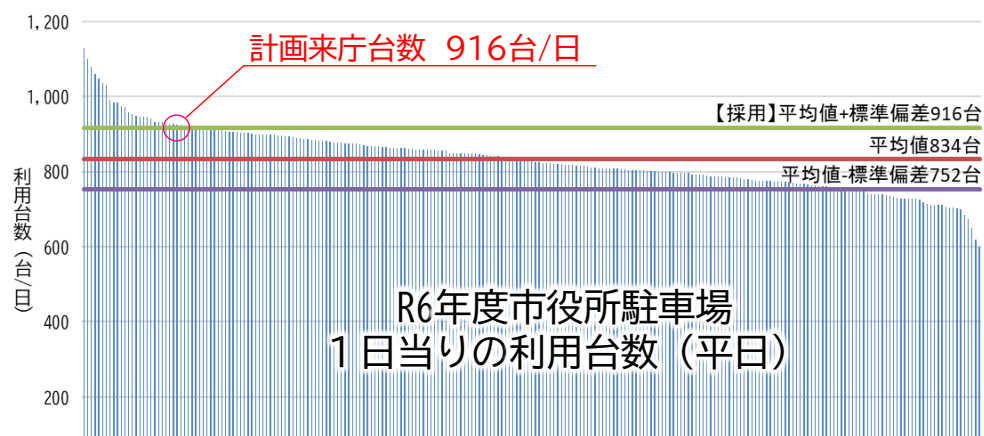


○ 来庁者必要台数 計算式

計画来庁台数 × ピーク率 × 平均駐車時間 ÷ **約150台**
(916台) (約16%) (60.3/60分)

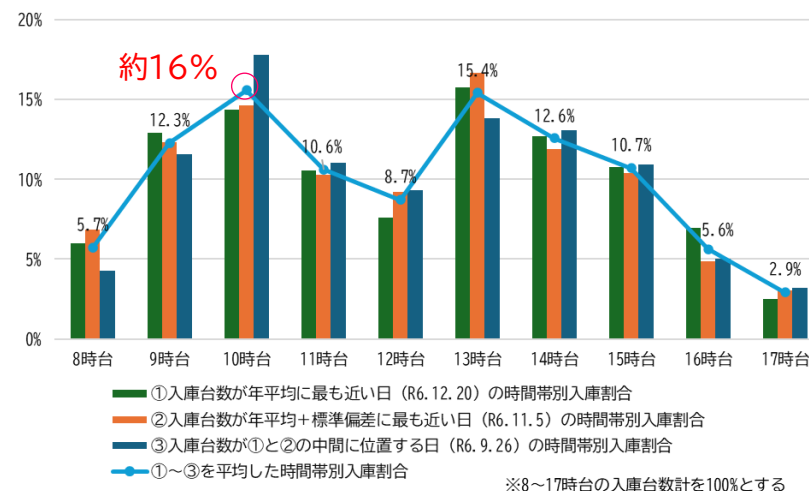
○ 計画来庁台数

年間最大需要で計算するのではなく、大規模開発地区関連交通計画マニュアル(国交省)での原単位採用値である、「平均値+標準偏差」の考え方をを用いて計画来庁台数(台/日)を設定。



○ ピーク率

市役所駐車場時間帯別入庫実績よりピーク時(10時)の割合を算出。

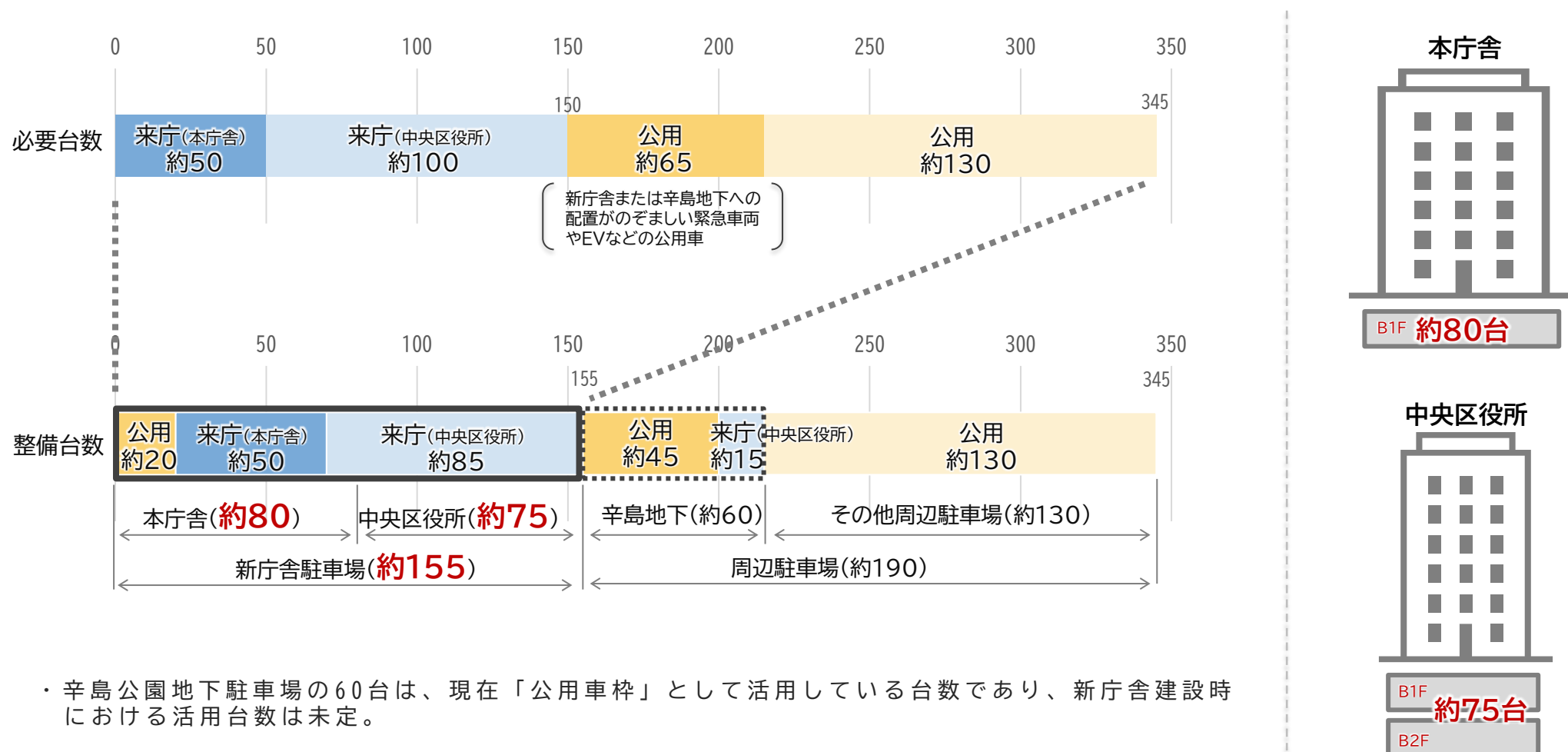


○ 平均駐車時間

来庁者アンケート結果より平均駐車時間60.3分と目的地割合(本庁舎・中央区役所)を算出。

(3) 整備台数の設定

新庁舎には345台が必要であるものの、人中心のまちづくり（駐車場抑制）の観点と、来庁者利便性確保の観点の双方を踏まえ、敷地条件から整備可能な規模を検討し約155台と設定。



・辛島公園地下駐車場の60台は、現在「公用車枠」として活用している台数であり、新庁舎建設時における活用台数は未定。

(4) 面積算定根拠

本庁舎・議会

	用途	面積
1F	荷さばき、車路	約 900㎡
B1F	駐車場、車路、共用設備等	約 6,370㎡
	小計	約 7,270㎡

中央区役所

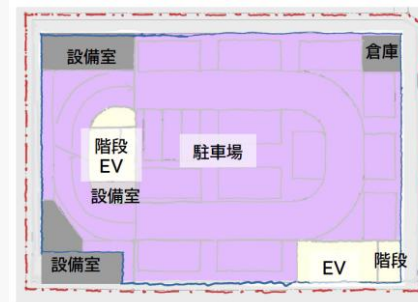
	用途	面積
1F	荷さばき、車路	約 600㎡
B1F、B2F	駐車場、車路、共用設備等	約 4,430㎡
	小計	約 5,030㎡

B1F



約80台
(70~90台)

B1F



B2F

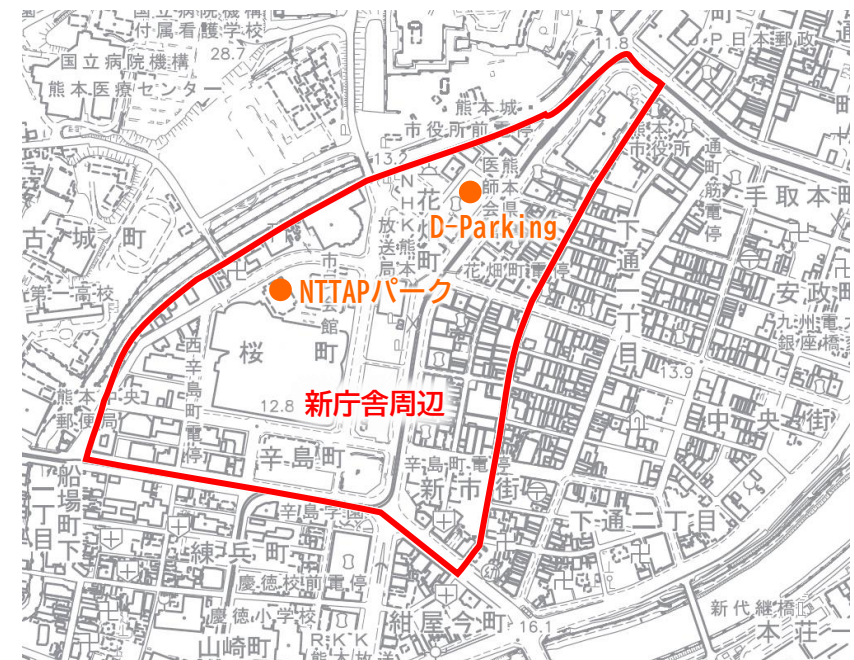


約75台
(1フロア35~40台)

- ・上図は、建物内に配置可能な駐車スペースを確認するために作成した **仮のレイアウト図** であり、今後の駐車・駐輪スペースの詳細な配置検討に応じて面積や台数は、変更する可能性がある。
- ・辛島公園地下駐車場との接続方針は現段階では未定である。

- ・庁舎移転に伴い、NTTAPパーク 及び D-Parking の駐車場が閉鎖されるため新庁舎周辺では約440台分の駐車場が減少。
- ・現行計画（新庁舎に約155台整備）に基づく、新庁舎周辺の駐車場のエリア満空率（需要／収容台数）は、平日で92.2%、休日で99.7%といずれも高い水準となっている。
- ・今後は、駐車場の適正化（分散化等）の取組を進める必要があるが、現段階において収容台数を過度に削減することは需給バランスの悪化を招き、入庫待ち車両による渋滞など交通への影響が懸念される。

※新庁舎周辺に立地する収容台数100台以上の利用実績が把握な駐車場を集計



熊本市 新庁舎整備基本計画